## 地域の特性を考慮した診療報酬点数について

## 第1 平成21年12月18日の中医協での議論

現行の診療報酬の体系においては、地域の特性について、地域加 算や離島加算等において評価されているに過ぎない。これを地域ご とに異なる点数とすると、

- (1) 同一の医療サービスを受けても住んでいる地域により、患者 の負担金額が異なる。
- (2) 診療報酬が高い地域においては、保険者負担も高くなる。 などの問題が生じる。

先日の基本問題小委においては、事務局よりこうした現状につい て提示したが、そこでは以下のような議論があった。

- ・今後の議論のためにも介護保険の特別地域加算との比較をして欲しい。
- ・地域加算や離島加算のようにその地域の保険医療機関に一律算定できるのではなく、入院時医学管理加算の届出医療機関ではないが同等の役割を果たしている医療機関に算定できるように要件緩和をして欲しい。
- ・2次医療圏で中心的に活動している10対1看護配置の病院が一番大変なので、要件緩和を中心とした地域加算は必要である。
- ・社会的インフラの整っていない過疎地域などで病院経営が成り立たないということが起こらないよう要件緩和をするかどうか。
- ・特別地域加算など介護保険制度も踏まえ、H24 同時改定で体系的に見直 してはどうか。
- ・地域ごとの診療報酬に差をつけるのは基本的に反対、議論している地域 のイメージが異なり、具体的にどういった算定要件の緩和をするかについ ては慎重に検討が必要である。

ただし、「地域」と言っても、いわゆる過疎地域やあるいは地方 都市全般を想定したものなど、様々な意味で用いられており、また、 その評価の対象となる項目や方法についても、具体的ではない。 いずれにしても、地域に限定した、診療報酬上の要件緩和等の配慮については、試行的にも実施してみるべきとの意見であった。

## 第2 検討内容と結果

- 1. そこで、評価の対象としては、地域での確保の困難性がしば しば話題となる看護職員に絞ることとし、また、地域について は、現在、データが入手可能な最小単位である2次医療圏<sup>注</sup>につ いて検討することとした。(参考資料P1)
  - 注 2次医療圏の看護職員数には、外来や特定入院料を算定する病棟に 勤務する看護職員などが含まれており、厳密には、入院基本料の算定 要件となる入院患者当たりの看護職員の数を反映しているものとはい えないが、近似的に活用することとした。
- 2. 具体的には、2次医療圏ごとに一般病床のみで構成される一般病院の1日平均在院患者数100人当たりの看護職員数を算出し、その数が少ない2次医療圏を割り出した。(参考資料P1)
- 3. その結果、看護職員数が著しく少ない2次医療圏は9圏あり、 大都市に隣接していたり、離島や県境にある医療圏等様々であった。また、その圏内の医療機関の多くは比較的看護配置区分が低い傾向であった。(参考資料P2~9)
- 4. そのうち、佐賀県東部保健医療圏および和歌山県那賀保健医療圏については、隣接している都市や医療圏に医療従事者が多く、結果的に看護職員数が少ない傾向にあるのではないかと考えられた。また、同医療圏は離島や山間地域等ではなく、さらに、過疎4法での対応もなく、地理的にも他の医療圏と同様の条件にあるとは言えない。(参考資料P7、9)

- 5. 一方で、和歌山県御坊保健医療圏は、患者数当たりの看護職員数は少ないが、人口当たりの医師数、看護職員数及び病床数は、大阪市や他の医療圏と比較しても多い傾向にあり、前述の2 医療圏同様に他の6 医療圏とは異なっているが、現在、過疎地域自立促進特別措置法等での対応もなされている状況も考慮する必要がある。
- 6. したがって、佐賀県東部保健医療圏、和歌山県那賀保健医療 圏を除く7医療圏については、病床に必要な看護職員の確保に 当たって診療報酬上の算定要件を満たせない場合に、何らかの 緩和措置について検討する意義があると考えられる。

## 第3 論点

診療報酬体系における地域特性の評価については、評価すべき地域やその対象や方法について、今後も引き続き検討が必要であるが、当面、看護職員の確保が困難である地域については、現在、医療法上の許可病床が 100 床未満の病院等について認めている緩和措置についての適用拡大などを検討してはどうか。 (参考資料 P13~15) 具体的な論点は以下の通り。

- 1. 現在、看護職員数の緩和措置について、地域の特性を考慮していないが、
- ① 一部の地域の医療機関について、考慮することをどのように 考えるか。
- ② その場合、前述した7医療圏については、どのように考えるか。また、7医療圏以外の地域にある保険医療機関についてはどのように考えるか。

2. 考慮すべき地域として、2次医療圏単位で検討したが、その結果も含めて「地域」について、今後、どのように考えるか。